

各 位

2013年10月15日  
有限会社やなせスタジオ  
株式会社フレーベル館

### やなせ たかし逝去に関するお知らせ（訃報）

漫画家・絵本作家であり有限会社やなせスタジオ社長である やなせ たかし（本名：柳瀬 嵩）が、2013年10月13日（日）午前3時8分、心不全のため順天堂病院にて逝去いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝いたしますとともに、謹んでお知らせいたします。

本件に関しましては大変急ではございますが、本日10月15日（火）17:00から帝国ホテル本館4階「桜の間」において改めてご説明いたします。

また故人の遺志により、葬儀につきましては近親者のみにて執り行いましたことをご報告いたします。尚、後日偲ぶ会を予定しております。日時・場所等につきましては、決定次第ご連絡申し上げます。

以上

<やなせたかし>

本名：柳瀬 嵩（読み同じ）

生年月日：1919年2月6日（享年94歳）

<略歴>

- 1919年：東京生まれ。本籍は高知県。父母の故郷は高知県香北町（現 香美市）
- 1939年：東京高等工芸学校図案科（現 千葉大学工学部）卒業
- 1947年：高知新聞社を退社し、上京。三越宣伝部に入社
- 1953年：三越を退社し、フリーとなる。漫画、ラジオコント、テレビ番組の脚本、映画雑誌での批評など、さまざまな分野での仕事を手がける
- 1961年：『手のひらを太陽に』作詞
- 1969年：『やさしいライオン』出版
- 1973年：株式会社フレーベル館の月刊絵本「キンダーブック」に『あんぱんまん』初登場
- 1988年：「それいけ！アンパンマン」日本テレビ系列でテレビアニメーションシリーズとして放映開始
- 1989年：第19回日本童謡賞特別賞受賞
- 1989年：アニメ映画第1作「それいけ！アンパンマン キラキラ星の涙」公開
- 1990年：「アンパンマン」シリーズで日本漫画家協会大賞受賞

## ニュースリリース

- 1991年：春の叙勲で勲四等瑞宝章受章
- 1995年：日本漫画家協会文部大臣賞受賞
- 1996年：「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」を高知県香北町（現 香美市）に開館
- 2000年：日本童謡協会功労賞受賞／日本児童文芸家協会児童文化功労賞受賞
- 2001年：やなせたかし詩集「希望の歌」第31回日本童謡賞受賞
- 2003年：第50回交通文化賞国土交通大臣表彰
- 2007年：「横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール」オープン
- 2009年：「それいけ！アンパンマン」が最もキャラクター数の多いアニメとしてギネス世界記録に認定
- 2010年：「名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク」オープン
- 2011年：「仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール」オープン
- 2012年：日本漫画家協会会長就任
- 2013年：「神戸アンパンマンこどもミュージアム&モール」オープン
- 2013年：やなせたかし画業60年、絵本「あんばんまん」出版40年、「それいけ！アンパンマン」テレビ放映・映画25年
- 2013年：11月「やなせたかし大全」刊行予定

### <有限会社やなせスタジオ について>

有限会社やなせスタジオ(本社:東京都新宿区、代表取締役:柳瀬 嵩、資本金:310万円、株主:柳瀬 嵩、株式会社フレーベル館)は、やなせたかしに関わる各種出版の編集・企画・デザイン・イラスト・漫画の制作を行う会社として、昭和56年4月17日に設立いたしました。

### <株式会社フレーベル館 について>

株式会社フレーベル館(本社:東京都文京区、代表取締役社長:武藤英夫、資本金:5,000万円、従業員:360名、株主:凸版印刷株式会社)は、1907年に「白丸屋」という名称で主に保育用品の販売を行う会社として創業。1920年に現在の「株式会社フレーベル館」となり、保育事業と出版事業を展開しています。創業当初から続いている保育事業は、保育所や幼稚園に向けて、園児たちが使用する机やいす、教材教具、園庭遊具など子どもたちの発達段階と目的に合わせた用品・備品を販売しています。出版事業は、保育者や研究者を対象とした専門書(保育図書)と「アンパンマン」や「ウォーリーをさがせ！」など数多くの児童図書を出版しております。これまでやなせたかし氏の著作物を多数出版すると共に、「アンパンマン」の原作に関する版元企業でもあります。

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社フレーベル館 総務部長 玉木 尚 経営企画部長 大竹裕之

[TEL:03-5395-6600](tel:03-5395-6600) FAX : 03-5395-6621

## ニュースリリース

戸田恵子さんからのコメント

やなせ先生こそがアンパンマンそのものでした。いつでも優しさで私達を包んでくださり、分けあうことを教えてくださった。ただひたすらありがとうございましたと感謝を申しあげるしかないのですが、今は決して無くしてはいけない大切な道しるべを喪った感覚です。悲しすぎて全く力が入りません。  
合掌。

戸田恵子